

旧甲州街道を歩く パート⑩ 大月から笹子へ

日時：2023年4月29日（土） 晴 やや健 2万6000歩 18km

集合：JR中央線大月駅 10時15分

コース：大月駅→富士道追分の碑→下花咲一里塚跡→下花咲宿本陣星野家住宅→善福寺前→いなだや→下初狩宿「みどう本陣」跡→山本周五郎生誕の地の碑→宮川橋の一目富士→小山田信茂首塚→白野一里塚跡→白野宿→伝説立石坂の立石→稲村神社→笹一酒遊館→笹子駅

参加者：平山L 奥村SL 畠SL 勅使河原 五十嵐志 平石 熊坂 高橋文 奈良 清水 栗田 市村 小田 澤 山田 高橋友 脇坂 岩元 内海 三田 戸崎 田村 22人

旧甲州街道を歩く、2021年10月9日の⑨以来1年半ぶりの再開です。平塚市の自宅を7時5分に出て、東海道線、相模線、横浜線、中央線、高尾駅で中央本線へ乗り継ぎました。高尾駅を出ると山また山、いくつものトンネルを抜けて9時53分に大月駅へ着きました。脇坂さんが、特急あずさで到着して22人の参加者がそろいました。快晴です。

畠サブリーダーが、「のんびり大月十二宿甲州街道あるき」の地図入りパンフレットを配ってくれました。大月市内には12の宿場があり、これまで歩いて来たところより宿場間の距離が短く小さな宿場です。パンフレットには「小さな宿場は業務の負担を少なくするために二つ以上の宿が日割りで経営を分担する合宿をしていた」と書かれています。この日のコースは、大月駅から七宿（大月、下花咲、上花咲、下初狩、中初狩、白野、阿弥陀街道）を巡り、笹子駅までのコースです。

標高359mの大月駅から、高尾山と同じ標高599mの笹子駅まで、ゆるやかな上り道ながら標高差は240m。街道を外れて小山田信茂首塚や笹一酒遊館に立ち寄り、2万6000歩、18km、見所いっぱいの歩いた感ある「やや健」旧甲州街道を歩くパート⑩でした。



白野一里塚跡

大月駅 10時15分～国道20号と合流～甲州街道・富士道追分の碑

昭和3年建築の趣ある丸太造りの山小屋風大月駅駅舎、標高は359m。駅舎越しに岩殿山（標高634m）が見えます。昼間の時間帯は普通電車は1時間に1本か2本、電光時刻表に中央本線の特急あずさと富士急直通の特急富士回遊の時刻が表示されています。富士急大月駅は改札入り口前に鳥居があります。晴、参加者22人がそろって10時15分にスタートです。旧甲州街道を進み、国道20号と合流。大月市役所前を通り、富士吉田方面の県道139号との分岐へ。「甲州街道・富士道追分の碑」があります。向って右側の碑は建立年不明、真ん中の道標は文久2年（1862）の建立、左側の道標は昭和2年（1927）のものです。



昭和橋～下花咲一里塚跡～11時10分下花咲宿本陣星野家住宅へ

追分で甲州街道から外れ、中央本線に架かる昭和橋を渡ります。空きスペースを利用して、熊坂さんリードのストレッチ。平山リーダーがコース説明、サブリーダーは奥村さんと畠さん。西へ進み、桂川に架かる新大月橋を渡り再び甲州街道に出ました。花咲地区に入り、江戸から23番目の下花咲一里塚跡を道路越しに見ました。11時10分の下花咲宿本陣星野家住宅へ、ニコニコ顔で当主が出迎えてくれました。敷地は東西26m、南北61mで主屋は2階建ての切り妻造り、馬も通り抜けたという表通用口から屋内へ入りました。当主が流暢な口調で、玄関の間、中の間、御前の間、上段の間と順次説明してくれました。



星野家住宅 12時10分～笹子川左岸～善福寺前～13時丁度 いなだや

入館して1時間が経過、当主に見送られて星野家を後にします。交通量の多い甲州街道を避けて笹子川に架かる橋を渡り、左岸を上流へ。進行方向右側は中央自動車道のコンクリート壁です。大きな木に絡みついた藤の花があちこちに見受けられます。大月インターチェンジ道路の下をくぐると山並みの展望が開けてきました。善福寺前へ、大分お腹もすいてきました。時刻は12時40分、先を急ぎます。再び、甲州街道に出ます。笹子川支流の真木川に架かる初月橋を渡ったところが待望の昼食場所「いなだや」、時刻は13時丁度です。食事処の隣りは同じ建物で居酒屋になっていました。



いなだや 13時40分～下初狩宿跡標識～下初狩宿「みどう本陣」跡

店に入ると昼時とあってテーブル席に何組かのお客さん。靴を脱いで奥の座敷へ、鮭・とりの唐揚げ・だし卵焼き弁当が用意されていて、温かい味噌汁も出て美味しくいただきました。リーダー・サブリーダーの手配に感謝。お腹も満腹になり13時40分、午後のスタートです。笹子川に架かる橋の上から上流を眺めると、河川敷に棚田が続いています。中央本線の踏切を渡ったところに「甲州街道下初狩宿」標識と聖護院道興歌碑がありました。甲州街道沿いの住宅街、どの家も庭が広く色とりどりの花々が旅人を楽しませてくれます。国道20号線に合流して少し進むと、ブロック塀に下初狩宿「みどう本陣」跡の表示がありました。



「山本周五郎生誕の地」の碑～宮川橋の一目富士～小山田信茂首塚

下初狩宿の名残でしょうか間口の広い趣のある家が多く見受けられます。「山本周五郎生誕の地」の碑があり、道路越しにパチリ。宮川橋のところ、旅人に評判だった「宮川橋の一目富士」地点。山並みの低いところに富士山が見えるとのことでしたがカメラではとらえきれていませんでした。橋を渡って中初狩宿地域へ、日本橋から100.6km地点です。甲州街道を左に入り、杉木立の坂を上って行ったところに「小山田左兵衛尉信茂顕彰の碑」と首塚がありました。武田勝頼が自刃し武田家が滅亡した際に、信茂は甲斐善光寺で切腹。信茂の従者が首を持ち帰り、詳雲山瑞龍庵(随龍庵)の住職がここに葬ったとされます。



中央本線高架下の川沿い～滝子川標識～白野一里塚跡～笹子駅方面へ

甲州街道に戻り西へ進みます。中央本線高架下の川沿いを上って行くと「滝子川」の標識が倒れています。ということは、この上流に山梨100名山、標高1620mの滝子山があるということです。いつか登ってみたいと思っていた山でしたが・・・ その隣に目指す「一里塚跡白野」の標柱があり、集合写真を撮りました。上ってきた道に戻り、笹子駅方面へ進みます。



笹子駅へあと3km～白野宿～伝説立石坂の立石～16時15分稲村神社

笹子駅まではあと3km、白野下宿バス停～白野宿～白野上宿バス停と進み、子神社前を通過。16時、工場の敷地の中を進んで行くと「鬼の立石」の標柱が出てきました。山道を少し上ったところに「伝説立石坂の立石」の標柱と大きな立石がありました。説明板に「岩殿山に住んでいた赤鬼が桃太郎一行に投げつけた右手の石の杖が力余ってここまで飛んできたと言い伝えられています」と書かれていました。中央本線高架下を通り、線路沿いの緩やかな上り道を進み16時15分、稲村神社に到着。大分歩いてきました、みなさん、社殿周りの石積みに腰かけて水分補給と小休憩です。



稲村神社～笹一酒遊館 試飲&お買い物タイム～17時25分 笹子駅

稲村神社で10分ほど休憩したでしょうか、西へ20分ほど歩いて16時45分、国道20号沿いの笹一酒遊館へ到着。駐車場の一角を借りて、熊坂さんリードのクールダウン。酒遊館へ入館、落ち着いた雰囲気です。日本酒やワインが展示販売されていて、みなさん試飲とお買い物タイムです。リーダーはソフトクリームが美味しそうです、くつろぎ場所でゆったりとする人も。私は、赤ワイン、少し甘めの苺ワイン、一番気に入った柚子ワインを購入、宅配便で自宅へ送りました。すっかりゆったりしました。門を出て酒蔵横の緩やかな上り道を進み、5分ほど歩いて17時25分、ゴールの笹子駅へ到着しました。



山梨百名山岩殿山(標高 634m) 山間に大月の街並と大月駅を展望

2年前の「旧甲州街道を歩く パート⑧」(雨予報で延期)前日の2021年6月18日、熊坂さん(L)、三田さん、市村で山梨百名山岩殿山に上りました。大月駅から山頂南側直下に鏡岩の大岩壁を見ることができます。標高は東京スカイツリーと同じ634m。山頂には、戦国時代に武田氏の家臣として知られる小山田氏が甲斐国国境防備の拠点として岩殿城を築いた本丸跡などがあります。山頂からの展望は、狭い山間のところを国道20号、JR中央本線、中央自動車道が東西に走り、大月の街並と大月駅が見えます。いにしへの旅人もこの岩殿山を見ながら、山間の甲州街道を行き来したことでしょう。岩殿山からの下りは、ロープ場や鎖場、「稚児落とし」と名付けられた大崖壁などがあるハイキングコースでした。



山梨百名山高川山(標高 976m)ハイキング 大月駅まで 1万9000歩

旧甲州街道を歩く⑩の翌日30日、熊坂さん(L)、山田さん、三田さん、市村で山梨百名山高川山(標高976m)に上りました。昼頃まで雨予報、大月のホテルを出るときに雨は止み、大月駅から初狩駅(標高457m)へ。9時45分にスタート、11時18分に高川山山頂到着。若い男女が上ってきたので写真を撮ってもらいました。11時43分下山開始、13時15分に稲村神社へ下山。クールダウンをして歩きはじめると雨が10分ほど降りました。桂川沿いを歩き県道に出てお店に入り昼食。富士急行田野倉駅へ、丁度電車が出た後。次発は1時間以上待ちなので歩くことに、16時に大月駅へ到着しました。(いちむら記)

